

2012 年度 協力会員定例総会 議案書

2012 年4月 21 日(土)午後6時 30 分～午後8時 30 分
巢鴨 ルノアール会議室

総会次第

- 1、司会
- 2、議長・書記の選出
- 3、会長挨拶・・・佐藤就之
- 4、2011 年度活動のまとめと経過（案）提案・・・大石陽子事務局長
- 5、決算報告、承認
- 6、2012 年度活動方針（案）提案・・・佐藤就之会長
- 7、予算案提案、承認
- 8、その他
- 9、閉会

○2011 年度活動のまとめ

（1）情報活動について

「三宅島新報」及び「ふるさとだより」は、隔月発行することができた。引き続き隔月発行できるようにしていきたい。

ホームページの更新も定期的に行うことができた。今後は、過去の新聞記事などを掲載していきたい。

（2）訪問活動について

事務局チーム、DTPA チーム、酒井副会長チームの3 チームに分かれ、活動した。

日程が合わなかったり連絡がつかなかったりと、定期的に行うことが難しかった。

今後は訪問活動先の絞り込みを行い、よりニーズに合った活動が行えるようにしていきたい。また、ふれあいコールも充実させていきたい。

（3）支援層と交流の広がりについて

3.11 東日本大震災の影響で、5 月の青空フェスタは中止となったものの、10 月には開催された。明日葉の天ぷらといった定番メニューに加え、つみれ汁の実演販売やおこわも販売したところ大好評だった。事務局と DTPA で協力していき、今後も続

けていきたい。島内における「島市」出店時の売り上げは、高齢者支援に活用した。

8月、12月、3月には、DTPAメンバーと共に岩手県宮古市などにボランティア活動に参加させていただいた。今度も、できる限りの支援活動を行い、被災地とのつながりも大切にしていきたい。

(4) ご寄付・活動等の協力について

今年度も皆さまからの温かいご支援をいただき、三宅島新報の発行、訪問活動、他被災地との交流など、活動を広げることができた。感謝申し上げます。

(5) アンケートについて

大妻女子大学 大学院人間文化研究科・人間関係学部の干川剛史教授のご協力で三回の帰りたいくても帰れない在京島民のアンケートを行った。三回目は、2011年10、11月であったが坪田高濃度地区の在京者と在島者・帰宅者を含めた。その結果は、「三宅島新報・隔月発行の平成24年1月1日第37号と関連して「ふるさとだより」NO26・27号に紹介している。第三回目アンケートに示した干川先生の三回分の集計と比較考察を踏まえて村長・村議会選挙(2月7日告示、12日投票日)以降に第三次要望書を提出予定である。

○主な活動経過について

- 5月 1日(日) 三宅島新報第33号発行
2日(月) ネット在京者会議
8日(日) 青空フェスタ打ち合わせ(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)
参加・・・大石、糸井、加藤、DTPA

※5月青空フェスタは東日本大震災の影響で中止となった。

- 13日(金) 韓国教育テレビ 東京取材「特集・世界の噴火災害」
14日(土) 第22回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)
17日(火) 訪問活動打ち合わせ
参加・・・大石、小林、加藤、伊藤、草野
19日(木) 事務局会議
28日(土) 韓国教育テレビ 三宅島取材

- 6月 6日(月) 人工透析を切望する会結成
18日(土) 浅沼集会「これでいいのか日本の政治」
26日(日) 訪問活動(町田市) DTPA

- 7月 1日(金) 三宅島新報第34号、ふるさとだより No.22 発行
 3日(日) 映画「ロック」試写会
 参加・・・在京者・協力者、約50名
 9日(土) 訪問活動(北区桐ヶ丘地区) ふるさとネット
 第23回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)
 12日(火) ふるさとだより No.23 発行
 18日(月) 三宅島「島市」出店
 22日(金) チャリティーショー(鶴吉さん主催)
 参加・・・大石
 30日(土)、31日(日) 三宅マリンスコーレ
- 8月 4日(木)～9日(火) 富賀神社大祭
 11日(木)～13日(土) 東北ボランティア(岩手県宮古市、大槌町、陸前高
 田市など)
 参加・・・向上学園、DTPA、大石、長嶋
 18日(木)～21日(日) 三宅島訪島(DTPA)
- 9月 1日(木) 三宅島新報35号、ふるさとだより No.24 発行
 5日(月)～8日(木) 一橋大学町村ゼミ来島協力
 12日(月) 第24回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)
 25日(日) 三宅島「島市」出店
- 10月 2日(日) 神楽坂青空フェスタ
 17日(土) 訪問活動(桐ヶ丘地区) ふるさとネット
 19日(水) 第25回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)
 23日(日) 三宅島「島市」出店
 25日(火) 第3回生活状況調査アンケート配布
- 11月 1日(火) 三宅島新報36号、ふるさとだより No.25 発行
 3日(木) ふるさとだより No.26 発行
 10日(木) 第3回生活状況調査アンケート回収
 18日(金) 人工透析の会会議
 27日(日) 三宅島「島市」出店
- 12月 5日(月) 人工透析の会・平野村長申し入れ

25日(日) ネット在京者会議

28日(水)～30日(金) 東北ボランティア(岩手県宮古市田老町)
参加・・・加藤、DTPA

1月 1日(日) 三宅島新報37号発行

5日(木) ふるさとだより No.27 発行

7日(土) 第26回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)

25日(水) 事務局会議

28日(土) ふるさとだより No.28 発行

29日(日) 訪問活動(桐ヶ丘地区)ふるさとネット

2月 8日(水) 事務局会

12日(日) 村長・村議選挙

15日(水) 読売新聞大阪・羽尻記者取材

18日(土) 平成24年 新春の集い(品川区「ビストロおきみくら」)
参加・・・島民・マスコミ関係の方・協力者、約40名

3月 1日(木) 三宅島新報第38号、ふるさとだより No.30 発行

3日(金) 三宅島「島市」出店

3日(金)～4日(土) 東北ボランティア(岩手県宮古市田老町)
参加・・・加藤、DTPA

12日(月) 事務局会議

17日(土) 第27回世話人会(喫茶ルノアール巣鴨駅前店)

○2012 年度の活動について

ふるさネットは、昨年度の活動方針の基本を次の二点を定めた。

- ①長期噴火災害の課題を検証し島民本位の本格的な再生への取り組みを！
- ②三宅島ふるさと再生ネットワークの5年間の取り組みを総括して重点的な活動を目指す。

本年度もこの柱を継続したい。

2月には、村長・村議会選挙があつた。島内に漂っていた帰島後の閉塞感を一步でも打開する契機になればと期待していた。

村民の選挙は、村長選挙では、現職を326票引き離し929票(47%)で桜田昭正氏を選び、また村議も新人三候補が得票総数の65%も占め、上位当選した。まさに今回の選挙は、これまでの村政に変化を求め「課題を検証し島民本位の再生」の意思を示したのである。

村政と島民が一体となり汗をかき、且つ痛みも分かち合う土壌をつくりあげたい。なぜなら三宅島は、世界に類を見ない活火山島である。

自然災害に向き合って生活することは、そこに住む人々の宿命である。

想像を超える怒りに似たすざましい自然界の破壊と再生の繰り返しに人々は悲しみ、また励まされて生きている。この激しく、豊かな自然環境を糧に私たちは、子子孫孫まで引き継がなくてはならない。

具体的な活動について

1. 在京者・高濃度地区アンケートに基づき要望書を行政機関に提出して実現に努力する。
2. 高濃度地区の早期再生のためにさまざまな活動を行う。
3. 在京者は高齢化・加療など深刻となっている。訪問活動も方法を検討し点検をしながら取り組む。
4. 「三宅島新報」「ふるさとだより」、ホームページ、村の情報提供など継続する。
5. 三宅島の現状発信のためマスコミ取材協力、大学研究機関、日本復興学会、各地の被災地との交流を行う。
6. 人工透析機早期導入。
7. 三宅島再生の島内活動を発展させるために、組織活動の整備、高齢化対策、文化活動などによりコミュニティを強化。

その他、必要に応じて活動を行う。